



「働く一人一人が、自分の人生やキャリアを主体的に考えられる職場づくりを進めてきた」と語るのは、介護事業を手がけるYKA（岐阜市三田洞）の河合晃司社長（39）。社員やパート職員が将来設計を描くことのできる仕組みづくりなどが評価され、「キャリアオーナーシップ経営AWARD2026」の中堅・中小企業の部で優

近況 社員の将来設計 後押し

秀賞を受けた。

入職時に退職時期を見据えたキャリアマップの作成を促し、定年制も廃止。年齢にかかわらず働き続けられる環境づくりを進めている。さらに、人工知能（AI）を活用した内省支援を導入し、職員が自身の経験や成長を振り返りながらキャリア形成へつなげていく仕組みも整えた。

これまでも職場づくりの取り組みを評価され、別の表彰をいくつも受けている。河合社長は「当たり前前のことを積み重ねてきた結果。従業員が生き生きと働き、地域でナンバーワンと言われる会社を目指したい」と話している。